

公益社団法人 日本地下水学会
2025 年度 第 7 回 理事会議事録

1. 開催日時：2025年12月20日(土)13:30-16:55

2. 開催場所：晴海区民館 1 号室、Web 会議

3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：14人

○：出席、×：欠席

理事	遠藤 崇浩	○*	理事	久保田 富次郎	○*
理事	阪田 義隆	○*	理事	杉田 文	○
理事	瀬尾 昭治	○	理事	高木 一成	○
理事	竹内 真司	○	理事	辻村 真貴	○*
理事	中川 啓	○*	理事	西田 憲司	○
理事	増岡 健太郎	○	理事	宮越 昭暢	×
理事	山中 勝	○	理事	吉岡 真弓	○
理事	吉田 広人	○			

*Webにて出席

5. 出席監事数：2人

○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	○*	監事	五藤 幸晴	○*
----	-------	----	----	-------	----

*Webにて出席

6. 議長の氏名：会長 杉田 文

代表理事 杉田 文は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況

- ・2025年11月18日(火) 公益社団法人日本地球惑星科学連合第33回学協会長会議 出席

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 増岡 健太郎

10. 理事会資料

- ・資料 1 : 2025 年度第 7 回理事会議事次第
- ・資料 2 : 2025 年度第 6 回理事会議事録
- ・資料 a (5 種) : 審議資料
- ・資料 b (6 種) : 協議資料
- ・資料 c (15 種) : 報告資料

【審議事項】

第1号議案：能登半島 WG 予算計上（調査・研究委員会：資料 a 審議_07(調)-1a)

- ・本年度末での活動終了を予定している令和6年能登半島地震に関する調査・研究グループの活動として現地視察会を検討しており、同視察会に関するWGメンバーの旅費申請が行われた。
- ・本年度における同WGの活動に関する予算額が0円であることと、申請費用の証憑等が現時点で未提出であるため、申請は否認された。
- ・次年度での見学会の実施を検討するため、同WGの活動が1年間延長されることについて承認された。これに伴い、2026年度の一次予算に関係費用を追加することとした。

第2号議案：会費未納会員の会員資格喪失処分（会計委員会：資料 a 審議_11(会)-1)

- ・前回理事会で処分保留となっていた会費未納会員5名に対する確認等の対応を行ったが、当該会員からの未納会費の納入は依然として行われていない状況であることが報告された。定款第10条に従い、前記の5名の会員に対して、会員資格喪失処分とすることが承認された。

第3号議案：入会の承認（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-1a, 1b)

- ・正会員2名についての入会が承認された。

第4号議案：調査・研究グループの期間延長（調査・研究委員会：資料 a 審議_07(調)-1b)

- ・2024年度から2年間の計画で活動を開始している「国土数値情報とその情報処理技術の高度利活用に関する調査・研究グループ」の1年間（2026年度）の期間延長に関する審議依頼が提出された。同WGでは一部成果が出ているが、WGメンバーより1年間の期間延長が要望されたことによる。
- ・同WGの活動延長に関して承認された。必要な予算額についてWGにて検討をしてから、阪田理事から西田理事に送付し、検討の上で予算計上を行うものとする。

【協議事項】

①投稿料の概算見積もり Web の作成について（編集委員会：資料 b 協議_06(編)-1)

- ・論文投稿料に関する投稿者とのトラブルを防ぐために、学会HP上に論文投稿料の概算金額が分かる新機能の追加の必要性が提案された。
- ・現時点で委託先から提示されている金額（来年度保守管理費用）に、上記の新しい機能追加とその保守管理が含まれるのかを確認し（会計理事から広報・IT理事へ確認）、来年度の一次予算案に計上することとした。費用の内訳については、二次予算案作成時に広報・IT理事から説明いただくこととした。

②SNS 利用内規について（広報・IT委員会：資料 b 協議_09(広)-1)

- ・SNSの利用に関する広報・IT委員会の内規案が提示された。
- ・炎上リスクを考えて学会の規程とすることも考えられるが、まずは広報・IT委員会の内規として運用を開始し状況を見て、必要に応じて規程化を検討していく方針とした。
- ・現状の各種規程類（倫理綱領、個人情報取扱い規程、著作権取扱規程など）との関係について調べておくこととした（総務委員会）。

③2026年度第一次予算案について（会計委員会：資料 b 協議_11(会)-1, 2)

- ・2026年度の第一次予算案について説明が行われ、現状でマイナス百万円程度の予算案であることが報告された。同一次予算案に対して、各理事に確認依頼が行われた（12月31日まで）。
- ・今後の予定として、一次予算案を基に各委員会との調整を行い、次回理事会で予算を確定し、最終的には年度末に公益認定等委員会事務局に提出される予定であることが伝えられた。
- ・活動は縮小せず、やり方等で工夫できる部分は検討するなど、各理事へ予算案収支0を目標とする協力が依頼された。
- ・年会費の自動引き落としからカード決済への移行に伴い、未納会員が増加することが懸念されるため、未納会員については早期に催促することとした。

④2029IAH 日本開催への学会対応（無任所：資料 b 協議_14(無)）

- ・ IAH2029の第1回組織委員会（11月27日開催）の要旨の説明が行われ、IAH2029への地下水学会としての対応について議論した。
- ・ 具体的な対応については、IAH-Japan側での実施内容が決定した後とし、それまでは情報共有を中心に対応していくこととした。地下水学会側の担当は中川理事とし、理事会毎に状況を報告するとともに、地下水学会員にも情報発信を進めることとした。
- ・ 組織委員会の中に地下水学会員が入ることで、地下水学会の意見が組織委員会に伝わるようなことを目指すことが良いとの意見が出された。将来における本学会の発展を考えると、若手の積極的な組織委員会への参加が理想であることから、学会員へのメール配信で募集することも有効であるとの意見が出された。地下水学会として、一つのセッションあるいは見学会を担当することも考えられるとの意見が出された。
- ・ 会計処理はIAH-Japanで行うこと（地下水学会で会計処理を行う必要がないこと）をIAH-Japanに確認することとした（中川理事）。

⑤日本学術会議会員推薦について（総務委員会：資料なし）

- ・ 日本学術会議会員に、現在連携会員である谷口氏（総合地球環境学研究所）を理事会として推薦する方針とした。

⑥次年度理事会予定について（総務委員会：資料なし）

- ・ 次年度第1回理事会を2026年4月25日（土）、代議員総会を2026年5月23日（土）に開催することとした。

【報告事項】

企画委員会：（資料c報告_03(企)）

- ・ セミナー、シンポジウム、講習会の開催/申込状況等が報告された。
- ・ 浸透流解析プログラムの活用方法に関するセミナーの参加者は、会場参加15名、オンライン15名の合計30名であったことが報告された。

行事委員会：（資料c報告_04(行)）

- ・ 秋季講演会の収支として約25万円の赤字決算となったことが報告された。原因として、会場設備費、招待者交通費などで出費が増加したとの説明がされた。
- ・ 再来年（2027年）の春季講演会の開催候補地として名城大学（愛知県）、同年の秋季講演会については宮古島（沖縄県）で検討中との報告がされた。

渉外委員会：（資料c報告_05(渉)）

- ・ 2025年度の地下水のきほんの開催報告が行われた。12月3日と10日の2日間で開催され、参加者数は、登録者が100名程度、当日参加者は60～70名程度であったことが報告された。

編集委員会：（資料c報告_06(編)-1, 2, 3）

- ・ 第67巻4号（2025年11月号）の出版報告が行われた（印刷部数は900部、2025年11月28日（金）発送）。
- ・ 次号（第68巻1号（2026年2月号））の出版スケジュールと内容について説明が行われた。著者校正ナシ原稿（学会活動報告等）の入稿メ切が2026年1月16日（金）であることが周知された。
- ・ 一般投稿論文数について少ないことが報告された。
- ・ 特集号（大垣地下水）の担当として、岐阜大学工学部の神谷浩二先生が2026年2月委員会より編集委員として新たに加わることが報告された。

調査・研究委員会：（資料c報告_07(調)）

- ・ 地域地下水情報データベースの更新についての報告が行われた。検索条件が未整備な文献について検索条件を整理中であること、今後の予定についての説明があった。

市民コミュニケーション委員会：（資料なし）

- ・ 報告事項なし。

広報・IT委員会：（資料c報告_09(広)）

- ・ 理事欠席のため、口頭での報告事項なし（資料のみ）。

YEPS委員会：（資料c報告_10(YE)-1, 2, 3）

- ・ 2026年度 「若手地下水研究助成」 応募要領の報告が行われた。若手地下水研究助成奨励賞の説明を追記したとともに、同賞が、新設されたドリコ賞の候補に該当する旨が記載されていることの説明があった。
- ・ 2025年秋季講演会「若手セミナー・懇親会」の実施報告が行われた。琉球大の安元先生の講演をはじめとして大変に盛況であったとの説明がなされた。
- ・ 会告「若手地下水研究助成事業に対する寄附のお願い」（掲載済）の報告が行われた。

会計委員会：（資料c報告_11(会)-1）

- ・ 現時点での収入・支出の収支について説明が行われた。昨年度よりも約百万円収支がマイナスであることが告げられ、各理事に対して予算管理を徹底するよう依頼がされた。

表彰委員会：（資料c報告_12(表)）

- ・ 名誉会員・永年会員功労賞の対応を進めることが報告された。

総務委員会：（資料c報告_13(総)-1,2）

- ・ 1件の共催依頼の報告が行われた。
- ・ 企業冠賞規程および表彰規程（改定）の対応状況が報告された。
- ・ 会費未納者への対応として、今後、会員資格が喪失する旨の内容証明郵便を送付するルール作成を検討していることが報告された。
- ・ 休会制度の要否について、他学会の事例を比較した上で検討中であることが報告された。
- ・ 次期（2027年度～）の監事候補者が推薦された。

無任所：（資料なし）

- ・ なし

監事：（資料なし）

- ・ 本理事会で議論したように、各委員会の予算については、その目的や用途を明確にして進めていくことが指示された。
- ・ 会費未納分を回収することで、収支の改善などが期待できる可能性もあるので、会費未納者に対しては内容証明郵便の利用なども含めて、厳正に対処していくことが良いとの意見が出された。

以上をもって議事を終了したので、議長は 16 時 55 分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2025 年 12 月 30 日

公益社団法人日本地下水学会 理事会